



JORNAL NIKKEY SHIMBUN

DIRETOR PRESIDENTE RAUL M. TAKAKI

Rua da Glória, 332 - Liberdade CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil

「自分のイメージ壊された」 委員たちと大喧嘩で終了

委員たちと大喧嘩で終了

12日、上院のコロナ禍調査委員会(CPI)は、下院の連邦政府リダーのリカルド・バロス下議(進歩党・P.E.)を招いて行われたインドのコロナワクチン「コバクシン」の不正契約を促したとの疑いが持たれているバロス氏は参考人として語ったが、委員たちと罵りあいになり、大喧嘩となった。12日付付字紙、サイトが報じている。

コバクシン疑惑調査進まず

バロス氏の存在が注目され始めたのは、6月25日に行われたCPIで証言を行ったルイス・ミラン(民主党・DEM)が、コバクシン疑惑の陰で動いているのがバロス氏だと暴露したため。ミランダ氏によると、兄弟のルイス・リカルド氏が動いている保健省のロジスティック課で4千回分の16倍もの価格(相場約1億6千万レアル)でコバクシンの契約締結が要求されたこと、3月20日にボルソナロ大統領に伝えた際、大統領自身の口から「その件はバロス氏のものだろう」と言われたという。以来、大統領は今日に至るまで、この発言を否定していない。また、コバクシンの契約仲介にあつたパラナ州の企業「プレシジオ・メジカメント」は、バロス氏がパラナ州マリナガの市長だった時代から関係があり、同氏がテメル政権の保健相を務めた時代に不正が指摘されていた企業であったことから、疑惑が深まったこと、12日のCPIでバロス氏は一貫して、CPI

タリシジオ・メイラ死去

名物夫婦の夫もコロナの犠牲

伯国芸能界きっての役者カプルの夫として長年愛されてきたタリシジオ・メイラが12日、コロナ感染症のために亡くなった。85歳だった。タリシジオの死は、コロナワクチンを2度接種した後

警ジェフェルソン氏を逮捕

大統領支持の過激な言動で

13日、ブラジル労働党(P.T.B.)党首で元下院議員のジェフェルソン・ロベルト・ジェフェルソン氏が、リオ州の自宅で連邦警察に逮捕された。13日付付字紙が報じている。

市残ったワクチンを希望者に

16日から2度目の接種促進で

聖市市役所が13日、保健所(U.B.S.)で使いきれずに残ったワクチンを有効利用するため、新型コロナウイルスの2度目のワクチン接種予定日前でも希望者は接種を受けられるようする計画を打ち出した。13、14日付付字紙、サイトが報じた。

フエルソン容疑者に対し「名誉毀損」誹謗中傷

「犯罪扇動」組織犯罪など、13の罪状をあげている。今回の処分は逮捕だけにどまらず、同容疑者のネット上での投稿禁止や、武器やコンピュータなどの所持品没収なども含まれている。

少雨による水危機が深刻化

水輪番供給や電力供給に不安

気候変動による少雨・干ばつが続く中、伯国の水や電力の供給の中心をなす南東部や中西部の水危機がより深刻化している。13日付付字紙などが報じた。

具体的な対策を避けて来た。史上稀な水危機は伯国の貯水量の70%を占める南東部と中西部の貯水池や貯水タムの水量低下を招いており、6月現在も28.92%だった同地域の貯水量は、11日現在で24.64%まで低下した。貯水量や川の水位の低下は、グラナデア川、パラナ川、パラナペマ川、パラグアイ川の全ての市や地域の中には、パラナ州クリチバ市とその周辺都市のような大都市圏も含まれる。同州ではクリチバ市など29市で、36時間供給後、36時間断水というサイクルの輪番制を採用している。また、聖州イツイ市も水源地の貯水量が32%に落ち、7月初旬から日替わり供給だ。サルト市も1日12時間の供給と19.4%に及んだ。商業部門や家庭用電力も、各々、19%と4.9%増え、今年に入ってから全国の累積消費電力は昨年同期比で

7.7%増を記録。この傾向は今後数カ月間続く見込みだ。また、今年に入ってから電力消費量はパンデミック前の2019年同期を超えている。リオ連邦大学(U.F.R.J.)電気部門研究グループ(Geese)によると、

パンデミックで減った在庫を回復させる必要などに駆られ、電力消費量が特多い部門での生産活動が活発化している。消費量が増す事自体は経済活動が回復してきている証拠だが、水危機が深刻化する中でこれにも懸念事項だ。鉱山動力省などは6月以降、大口消費者にピーク時を避けた電力消費を呼びかけた。水危機の深刻化で、水危機の深刻化で電力供給にも不安が生じている。9月1日以降、工業部門や家庭にも節電を呼びかける事を考えている。火力発電を多用する必要があるため、電気代がさらに値上がりする可能性もあるが、節約に応じた消費者には電気代の割引なども検討されているようだ。

茶の間で長年愛されてきた俳優タリシジオ・メイラの死は、人気コメディ俳優のパウロ・グスマン・ヴィオの死と同様、国民にコロナ感染の怖さを伝えているが、今回の場合はコロナワクチンを2度接種した後だっただけに「安全神話」が壊れたかのショックを与えている。これにより、タリシジオが受けたコロナワクチンに対する疑念の音が一部であらりはじめられている。インフォトラッカーという団体が行った調査によると、「ワクチン2回接種後の死亡例」は2月28日から7月27日にかけて7倍増となった。新型コロナウイルスの死者の3.68%しか占めていない

という。米国やイタリアの研究でも、現在のコロナによる死者の99%はワクチン拒否者や非完了者の発表がある。やはりワクチンには有効だ。聖市南部のイビラエラ公園に、新しいアトラクションができ、話題を呼んでいる。それは「ロレッタ・ジガンテ・ブレミアード」と呼ばれる高さ20メートルの大観覧車だ。平日は運営しておらず、土曜と祝日は12時、日曜日は11時19時となっている。料金は1回につき4人乗りで30レアル。当然、マスクの着用義務はあ



Seca histórica faz 53 cidades do Sudeste, Sul e Centro-Oeste racionarem água

南東部、南部、中西部で53市が水の輪番供給を採用と報じる13日付付字紙の記事の一部



若き日のタリシジオ (TV Brasil)

やほり、今晚のミネイロ・スタジアムで行われる首位攻防戦、アトレチコ・ミネイロ対パルメイラスの一戦だ。現在首位のガロ(ミネイロ)に対するパルメイラスの勝ち点差は2で、勝つと首位が入り替わる。パルメイラスとしては、元セリエ選手としてのフッキが加わり、得点力上がったガロをなんとかして封じ込め、首位復帰を果たしたいところだ。

緊急時の連絡先

- サンパウロ日伯援護協会「本部事務局」 TEL: (11) 3274-6483
- サンタクルス病院 「新型コロナウイルス感染症の緊急外来受診のためのコールセンター」 TEL: (11) 97572-4602
- 万が一、医療機関等に隔離され、日本政府の援護が必要な場合の在外公館の連絡先リスト

外国為替市況

中銀サイトより	8月13日午後4時現在
米ドル相場	5.243 R\$
売買	5.241 R\$
円相場	0.0478 R\$
売買	0.0478 R\$

県連と格安サービス協定

サンタクルス日本病院



聖市のサンタクルス日本病院 (佐藤マリオ理事長) は4日午前、ブラジル日本都道府県人会連合会 (県連、市川利雄会長) との間で県人会の会員であれば一部サービスを特別価格で受けられるという協定の締結調印式を行った。9月頃に開始を予定しているこの協定は、県人会員であれば診察代が通常価格350レアルのところ120レアルに、検査は種類によって異なるが平均すれば半値で受けられるという特別なサービスだ。

県人会会員に特別価格で「日系社会へ貢献強めたい」

調印後の記念撮影。撮影のため一時的にマスクを外している。同院はこれまで「憩の園」や「こども」などの日系福祉団体へ無料健診を行ってきた。石川レナト評議会議長は開会の挨拶で「今回は県連との協定ですが、もともと日系社会へサービスを広げ、日系社会に広く貢献していきたい」との展望を語った。



市川会長は「病院の運営者が三世、四世代になつていますが、これまで病院を作りあげた先達への恩返しという気持ちを強く感じています」と、大切な取り組みだと話した。

「その気持ちを大切に、私達県連がどのように取り組んで、その思いを伝えていくかも重要だと感じています。その一つとしてカードを考えました。いつも持ち歩いていけば緊急にも使えます」と説明した。

桑名在聖総領事は「コロナ禍で同院や県連など日系社会支援を続けてきたJICAの江口所長は「非常に厳しい状況下でお互い助け合う関係が強化されています」と、非常に嬉しいと言った。

「コロナ禍で同院や県連など日系社会支援を続けてきたJICAの江口所長は「非常に厳しい状況下でお互い助け合う関係が強化されています」と、非常に嬉しいと言った。

戦前写真や新聞記事を寄贈 歴史的史料一式を移民史料館へ

7月28日午後、サンパウロ三田会はブラジル日本文化福祉協会 (石川レナト会長) が運営する移民史料館 (山下リジア運営委員長) に歴史的な史料一式、写真や報道記事などを寄贈した。

同日には慶応義塾大学OB会「三田会」の林繁雄会長、長野昌幸氏、大胡俊武氏、関根いつ子さんが文協ビルへ訪問し、

9月にブラジル三田会贈りに感謝を表した。

「私たちが持っているものが、三田会に託して、研究を行う部門もあり、研究に活用させていただきます」と史料の寄贈に対し感謝を表した。

「私たちが持っているものが、三田会に託して、研究に活用させていただきます」と史料の寄贈に対し感謝を表した。

「私たちが持っているものが、三田会に託して、研究に活用させていただきます」と史料の寄贈に対し感謝を表した。

「私たちが持っているものが、三田会に託して、研究に活用させていただきます」と史料の寄贈に対し感謝を表した。

「私たちが持っているものが、三田会に託して、研究に活用させていただきます」と史料の寄贈に対し感謝を表した。

「私たちが持っているものが、三田会に託して、研究に活用させていただきます」と史料の寄贈に対し感謝を表した。

「私たちが持っているものが、三田会に託して、研究に活用させていただきます」と史料の寄贈に対し感謝を表した。

「私たちが持っているものが、三田会に託して、研究に活用させていただきます」と史料の寄贈に対し感謝を表した。

「私たちが持っているものが、三田会に託して、研究に活用させていただきます」と史料の寄贈に対し感謝を表した。

桑名在聖総領事が伯国セミナー コロナ禍の経済と回復傾向

ブラジル中央協会 (大前孝雄会長・東京都所長) は9月22日10時から11時30分 (日本時間) に「桑名在聖総領事による最新のブラジル情勢セミナー」を会議室で実施する。

本イベントは、桑名在聖総領事が講演する。

講師を務め、コロナ禍でのブラジルの経済状況などを90分に亘って解説する。

このオンライン講演では、コロナウイルスにより累計死者数世界第2位となり、ワクチンによる効果の現状や、東京五輪でメダルを受賞した選手など、コロナ禍で大打撃を受けた経済とその回復傾向などを中心に講演を行う。

同日は9月22日10時11分30分 (ブラジル時間) 9月21日 (22時23分30分) に開催予定。同協会会員は参加費無料。非会員は1千円。詳細や参加申し込みはサイト (https://nipo-brasil.org/archives/event/lec20210922) から。

同日は9月22日10時11分30分 (ブラジル時間) 9月21日 (22時23分30分) に開催予定。同協会会員は参加費無料。非会員は1千円。詳細や参加申し込みはサイト (https://nipo-brasil.org/archives/event/lec20210922) から。

同日は9月22日10時11分30分 (ブラジル時間) 9月21日 (22時23分30分) に開催予定。同協会会員は参加費無料。非会員は1千円。詳細や参加申し込みはサイト (https://nipo-brasil.org/archives/event/lec20210922) から。

大目小目

ブラジル三田会では、休日をを利用して南米での医療活動や研究発表などを通じて国際交流や異文化理解を進める取り組み、国際医学研究会 (IMA International Medical Association) で来伯する学生の歓迎会等を行ってきた。

「20年・21年はコロナ禍で学生達が実際に来伯することが叶わなかった。来た頃はいかにも

よる交流も盛んになっていくが、医療は人を診る職業柄、現場での体験は重要。再び学生達が来伯できる環境になることを願うばかり。

「20年・21年はコロナ禍で学生達が実際に来伯することが叶わなかった。来た頃はいかにも

よる交流も盛んになっていくが、医療は人を診る職業柄、現場での体験は重要。再び学生達が来伯できる環境になることを願うばかり。

「20年・21年はコロナ禍で学生達が実際に来伯することが叶わなかった。来た頃はいかにも

よる交流も盛んになっていくが、医療は人を診る職業柄、現場での体験は重要。再び学生達が来伯できる環境になることを願うばかり。

キノコ雑考

近年の特筆すべきは、2008年にプリンストン大学の下村脩教授がオワンクラゲとキノコの発光体から、緑色蛍光蛋白質 (GFP) を発見し、生物体内で発光させる事により生理学的現象を追跡するメカニズムを開発しノーベル化学賞を受賞した。これよりガン細胞の転移及び増殖の状況が容易に確認でき、また糖尿病では膵臓の細胞がどの様に血糖値を下げていているかが解るとの事です。

更に下村教授の「花も実もないキノコから発光する仕組みの秘密を解明する事は、生命の神秘を探る錬金術として偉大な発見となり人類に利益をもたらす」との含蓄ある提言は、キノコ研究者に激を飛ばし抱負を新たにしました。

更に2015年にノーベル生理学・医学賞を受賞した北里大学の岡村智教授は、一匙の土にはキノコの菌糸等約1億個の微生物が生息している事から、出張の度に各地で採取した土壌を持ち帰った結果、1974年には静岡県伊東市の川奈ゴルフ場近くで採取した土から新種の放線菌 (Actinomyces) キノコ同様、土に生息する細胞が菌糸を形成しカビの如く放射状に増殖し生育分岐を繰り返すバクテリア) の一種でイベルメクチンの原料となるエウアメクチンを分離しました。

これより花咲きの逸話を地味にいかの様に抗ウイルス活性、抗炎症作用、家畜の寄生虫駆除、そしてアフリカや中南米では年間数10万人が失明するオンコセルカ症の治療薬のイベルメクチンを創薬しノーベル賞を受賞しました。

斯様に医薬学界での相次ぐ受賞者がいずれもキノコ関連の研究成果による偉業である事は誠に意義深いものであります。更にイベルメクチンはこれだけの薬効に留まらず、ウイルスが人間の体内で増殖するには人間の細胞核に入り込まなければならぬが、細胞内には核膜を通してウイルスを運び込む蛋白質が存在するので、イベルメクチンはその蛋白質と結合してウイルスが核の中への侵入を邪魔する特性を発見し、Covid-19に対するイベルメクチンの臨床効果が確認されました。

日本政府もイベルメクチンの効果を認め都道府県の保健所に使用許可を通達しました。土壌に棲むキノコの菌糸や細菌が人類を救う薬剤として日米の化学者が創薬した事は歴史に残る快挙でした。しかしWHOを始め一部の医療関係者はイベルメクチンのCovid-19に対する臨床効果を歪曲且つ捏造の疑いのある「狂想曲」と見做すまで押撤されたので、日本政府はかかる風評に躊躇を余儀なくされ、対応策も講ずる事なく今日に至っています。

一方、イベルメクチンは既に特許期限切れのジェネリック薬剤であり、アメリカのメルク社ばかりでなくインドや中国でも今や大量生産して居り、更に罹病者は年間一度の服用のみで、3500程度だが世界的には数百億に過ぎません。それで創業元のメルク社は今更莫大な投資をしてイベルメクチンのCovid-19に対する臨床効果の裏付け確認試験をするのは、医薬業界独自の算術と人道的行為とが両立しないとの打算で拒んできました。一方、日本では大村先生が理事職にあった北里大学付属病院に於いてのみ医師主導でイベルメクチンの裏づけ臨床試験は行われてきましたが、資金不足と被験者不足で停滞していました。

RYUKYU AWAMORI MIZUHO advertisement with product images and text.

Bazar Beneficente advertisement with event details and menu.

キノコ雑考 advertisement with author information and contact details.

こくさいは にほんじん
国際派日本人養成講座
 伊勢雅臣

ビゴアの風刺画は 歴史教科書にふさわしいか?

1. 選手たちの情熱、妨害者たちの陰湿

東京オリンピックが始まりました。開会式の前には、21日の第1戦では、オーストラリア相手にホームラン3発のゴールド勝ち。翌日第2戦はメキシコ相手に、延長8回でサヨナラ勝ちという熱戦でした。

39歳の上野由岐子投手の二戦連続先発の力投。2回連続のピンチを食い止めた20歳の後藤希友投手の見事な火消しと、アマチュア選手たちの情熱に心打たれました。コロナ禍のために無観客でしたが、せつなく福島市で開催したことから、大震災に見舞われた子供たちだけでも招待して、元気づけて欲しいかと思われました。

その一方で、何とか東京オリンピックを妨害しようという陰謀な策謀が続いています。朝日新聞は開会式当日の一面トップが「開会式演出 小林氏を解任 過去にユタヤ人虐殺擁護」社説は「五輪きよ開会式 分断と不信 漂流する祭典」です。それほどオリンピックに反対なら、オフィシャルパートナーをやめるべき、との批判も起きている。

それにしても開会式の前日に発売したディレクター・小林賢太郎氏のユタヤ人虐殺擁護というのは、1998年に書いたコントのセリフ原稿です。開幕式4日前には楽曲制作を担当していた小山田圭吾氏が1990年代に出版した雑誌や書籍でいじめインタビュウがネット上に広がり、辞任しています。

小林氏、小山田氏とも弁護するつもりはありませんが、20年以上も前のコント原稿や雑誌記事まで調べて、開会式直前にぶつけてくる、というのは、何者かの意図的な策略としか考えられません。オリンピックに賭ける選手たちの情熱を汚す、まことに陰湿な手口です。

2. 「放射能防護服を着た 聖火ランナー」!?

嫌がらせは国外からもやってきました。この2月、韓国の民間団体があるポスターを作成し、インターネット上で公開しました。それは、聖火ランナーが放射能防護服を着て走っている風刺画です。それ



ビゴアの風刺画

東京書籍と清水書院の教科書に掲載されているのは、白人たちがボールカーを走らせているクラブで出っ歯で猫背、下駄を履いた日本人が入ってきて、こんな会話を交わしています。(写真2)

イギリス「ほら、ソードスカ氏だよ!」
 ロシア「君は何を望みか?」
 ソードスカ氏「あなたがたのクラブに入ることを望みます。ドーン、オネガイシマッセ...」

言葉まで、ひどく鈍っています。対するロシア人は堂々とした、口ひげも豊かな偉丈夫ですが、ソードスカ氏を招き入れるイギリス人は狡猾そうな人間に描かれています。

3. 学習指導要領での 風刺画使用の ガイドライン

文科省の学習指導要領では、風刺画の利用も認められていますが、次のようなガイドラインが示されています。

同一の事象についての視点や立場が異なる資料を取り上げ、その表現の時期や場所、作成者等を特定し、それぞれの表現の内容を比較し、当時の状況と結びつけることにより、その資料の意図や作成された目的を対比的に捉え、諸資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し表現する。【文科省 P139】

歴史学における資料の取り扱いについては、学問的に妥当な要求でしょう。

たとえば、前述の放射能防護服を来た聖火ランナーの風刺画に対して、福島の子供たちが聖火ランナーにあこがれる絵を対置し、前者は韓国の反日団体作成と分かれれば、「福島に残る放射能の危険の中」という説明には、中学生でも「ちよっと待てよ」と疑いの目を向けるでしょう。

文科省の提唱する「主体的・対話的で深い学び」のためには、上記のガイドラインは最低限、必要なものです。

ビゴーはどんな立場から、どんな目的で、日本を揶揄する風刺画を描いたのか?

ビゴーはどんな立場から、どんな目的で、日本を揶揄する風刺画を描いたのか?



ビゴアの風刺画

4. 「出っ歯で猫背、下駄を履いた日本人」を描いた理由

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心ももてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読まない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。(ニッケイ新聞編集部)

ところが、前述の「ソードスカ氏」が登場する風刺画では、「視点や立場の異なる」別の資料を掲載することなく、どの誰か、どんな視点、立場、意図で描いた風刺画なのか、も説明していません。清水書院は作者ビゴアの名を標記していますが、東京書籍はそれさえもありません。文科省のガイドラインは完全に無視されています。

そこで、本号では両教科書に代わってこの「ビゴア」なる人物が、どういう立場、意図で、こうした風刺画を描いたのか、明らかにしてみよう。それを知れば一般読者でも、歴史教科書に掲載する価値がある資料かどうか、判断できます。

まずビゴアは明治15(1882)年から17年間日本に滞在し、明治32(1899)年にはフランスに帰国しています。日露戦争は明治37(1904)年からですから、その5年も前に日本を離れているのです。つまりビゴアはフランスにいて、どういう意図で、日露戦争に関する風刺画を描いたのでしょうか?

ビゴア研究で多くの著作をもっている清水薫氏は、「ビゴアが見た明治」でこう説明しています。

当時フランスでは漫画雑誌ブームが起っていた。露露同盟下、多くのフランス人が日露戦争におけるロシアの勝利を期待して、ロシア絶対有利の漫画雑誌が次々出た。そんな時代にビゴアもそのブームに加わったわけである。【清水H18、P133】

何のことはない、同盟ロシア勝利を期待したフランスでの漫画ブームに当て込んで描いた漫画だったわけだ。出っ歯で猫背の風采の上からい日本人的な姿は、当時のフランス人の人種差別感情に取り入ったものでしょう。ロシア人がやけに立派に描かれているのも、これで理解できます。

同じ風刺画に対して、清水氏は「絵で書いた日本人論」では、こう解説しています。

もう一つ、ビゴアの情勢認識が客観的でないと感じるのは、終始、自分の都合から日本の「条約改正」に反対している点です。「条約改正」とは日本が幕末期に欧米諸国と結んだ不平等条約を改正する事です。

もう一つ、ビゴアの情勢認識が客観的でないと感じるのは、終始、自分の都合から日本の「条約改正」に反対している点です。「条約改正」とは日本が幕末期に欧米諸国と結んだ不平等条約を改正する事です。

もう一つ、ビゴアの情勢認識が客観的でないと感じるのは、終始、自分の都合から日本の「条約改正」に反対している点です。「条約改正」とは日本が幕末期に欧米諸国と結んだ不平等条約を改正する事です。

5. 「歴史経過とビゴアの 認識とは大きなズレ」

そもそも歴史教科書で風刺画を使う価値は、次のどちらからでしょう。

作者が当時の国際情勢に関して深い見識を持っており、その見識が風刺画から読み取れること。

その風刺画がある社会で人気を博し、人々の心理・時代精神をよく代弁していること。

結論を先に言えば、ビゴアの風刺画はどちらの価値も持っていない。

まず、ビゴアの日露戦争に関する見識が全くあてにならないものであることは、次の点から窺えます。別々の風刺画で、日露戦争で「日本が韓国を支配し、清国を引き連れてロシアに立ち向かう」姿を描いています。この画に関して、清水氏はこう指摘しています。

日露戦争における日・清・韓三国の関係について描いたものが、歴史経過とビゴアの認識とは大きなズレがあるようだ。露露同盟下のフランスから見ると、日・清・韓三国は結束しているように見えたかもしれないが、それは庶民感覚であって、開戦に向けて清国・韓国は決然と態度表明している。(伊勢注)以下、両国の中立宣言を説明

このような漫画が描かれるのは、日清戦争後、ドイツ皇帝ヴィルヘルム二世が独・露・仏による三国干渉を正当化するために主張した黄禍論の影響のようにも見える。【清水H18、P106】

ビゴアの日露戦争に関する知識はこの程度のものであり、彼の風刺画から特に学ぶべき見識などありません。

もう一つ、ビゴアの情勢認識が客観的でないと感じるのは、終始、自分の都合から日本の「条約改正」に反対している点です。「条約改正」とは日本が幕末期に欧米諸国と結んだ不平等条約を改正する事です。

もう一つ、ビゴアの情勢認識が客観的でないと感じるのは、終始、自分の都合から日本の「条約改正」に反対している点です。「条約改正」とは日本が幕末期に欧米諸国と結んだ不平等条約を改正する事です。

もう一つ、ビゴアの情勢認識が客観的でないと感じるのは、終始、自分の都合から日本の「条約改正」に反対している点です。「条約改正」とは日本が幕末期に欧米諸国と結んだ不平等条約を改正する事です。

6. 商売上の利益維持のために 不平等条約改正に反対

日本に住む外国人が犯罪を犯しても日本政府は裁判にかけられない、関税も自分で決められない、という後進国への露骨な差別を含まない不平等条約で、日本の名誉を傷つけている不平等条約の改正は、日本政府にとっても日本国民にとっても悲願でした。しかし、ビゴアは自分の個人的な損得から、条約改正に反対していたのです。清水氏はこう説明しています。

彼の画を買う上得意は在日フランス人たちであった。彼が百人ぐらいたった同胞たちが、固定客となってビゴアの援助者になっていたのである。日本人の中で生活し、日本人を描き続けていたビゴアであったが、生活の糧をこのように居留地の外人相手の商売に求めたことが、ビゴアの日本政府のやり方に反発する要因になっていた。

日本政府の条約改正交渉は、居留地の外国人にとりて数々の特権を失なうという生活への脅威であった。多くの居留民たちは条約改正を絶対に認められないわけにはいかなかった。ビゴアも、条約改正が実施されることにより、特権を失なう外国人が次々と帰国してしまったり、日本での生活手段を奪われることになり、絶対反対の態度をとり出した。【清水S56、P12】

ロシアの南下に備えて、イギリスは日本に接近する必要から、条約改正に反対した。清水氏はこう説明しています。

批判のほこ先を日本政府からイギリスの極東政策に向けていく。これは居留民の不満の対象と致している。多分にビゴアは、居留民の関心や不満を代弁するジャーナリストにならざるを得ない。【清水S56、P13】

日本ではフランス居留民の関心や不満を代弁する絵を描き、フランスではロシアを応援するブームに乗って、日本とイギリスを揶揄する風刺画を出す。ビゴアの動機は商売上の利益でした。客観的な国際情勢認識など期待できません。

もう一つの価値を考え見ましょう。ビゴアの風刺画は当時の日本国民の間で人気を博し、その声を代弁していたという価値があったのでしょうか。実は、ビゴアは明治の日本人には全く知られていなかったようなのです。ビゴアと親交のあった長原孝太郎という洋画家が、次のように書いています。

彼が日本の風俗を描いた漫画は外国の人々に売って生活の助けとするために描かれたものだ。無論日本人仲間などには問題にはならなかった。【清水H23、P121】

7. 日本でもフランスでも ほとんど無名だったビゴア

母国フランスではどうだったのでしょうか。新聞人・鈴木秀三郎氏は「ビゴアはフランスでも一般に認められていない画家であるが...」と書いています。【清水H23、P14】

またパリに永く住んだ新聞記者・松尾邦之助氏は、たまたまビゴアが死ぬ前に住んだ家を訪ねた時に、貧乏な寡婦に「ビゴアのもの(作品)を売りたいが誰か買手はないか」と聞かれています。誰か日本人の金持ちでも買わない限り、パリの蚤の市中で東三文で売り飛ばされるだろう、とは松尾氏の予想です。【清水H23、P233】

ビゴアは日本でも、フランスでも売れない画家でした。ですから、その絵から、当時の日本やフランスの国民心理を表現しているなどとは、とても言えないのです。

そんな無名のビゴアの風刺画が日本で注目を浴びたのは、昭和26(1951)年頃から、マルクス主義歴史学者・服部之総氏が代表を務めた日本近代史研究会によって発掘されてからです。作品の価値はいかなくなりました。ビゴアも、条約改正が実施されることにより、特権を失なう外国人が次々と帰国してしまったり、日本での生活手段を奪われることになり、絶対反対の態度をとり出した。【清水S56、P12】

そのわきまの効いた画風からの政治宣伝用材料としてです。また歴史研究者なら、教科書に使うには躊躇するでしょう。歴史教科書でビゴアの絵を使うという、という事は、自ら「偏向教科書」というレッテルを貼っているようなものなのです。

リンク

- ・JOG(1216) フェイクニュースと毒入り餃子
- ・フェイクニュースは毒入り餃子と同じ。消費者主権を發揮して、有害な新聞、雑誌、著者を敬遠しよう。http://blog.jog-net.jp/2021/05/article_5.html
- ・YOUTUBE「歴史総合」教科書読み比べ「日露戦争」上 https://youtu.be/yw8xbduu8
- ・YOUTUBE「歴史総合」教科書読み比べ「日露戦争」下 https://youtu.be/sbj1qgq_ba

清水薫「ビゴアの150年 異色フランス人画家と日本」★ 臨川書店、H23

清水薫「ビゴアが見た明治」★ 講談社学術文庫、H18

清水薫「ビゴア日本素描集」★ 岩波文庫、S61

清水薫「絵で書いた日本人論」★ 中央公論新社、S56

文科省「学習指導要領」平成30年告示 解説 地理歴史編

国際派日本人養成講座
 発行人=伊勢雅臣(文責)
 Mail: ise.masaomi@gmail.com
 Twitter: https://twitter.com/ise_masaomi
 無料購読申込・取消: http://blog.jog-net.jp/

